SHINAGAWACC

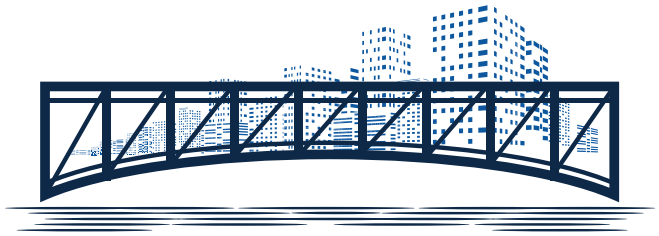
SHINAGAWACC SDGs ACTION REPORT 2026

続いていく文化を、品川から。

Sustainable Culture, from Shinagawa.

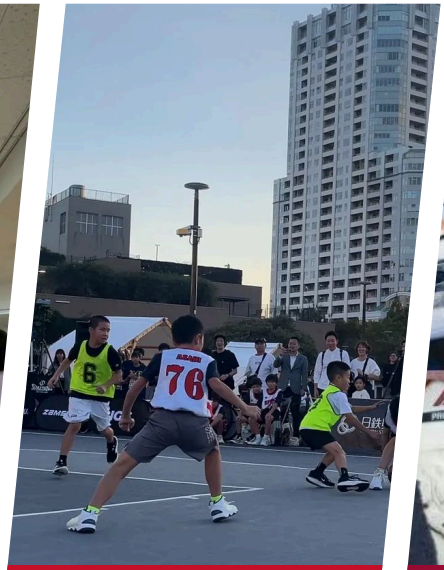
サッカー、3x3、チア、ブラインドサッカー。
4つの競技で、品川に続いていく橋をかける。

品川CC（株式会社品川カルチャークラブ）
2026年11月

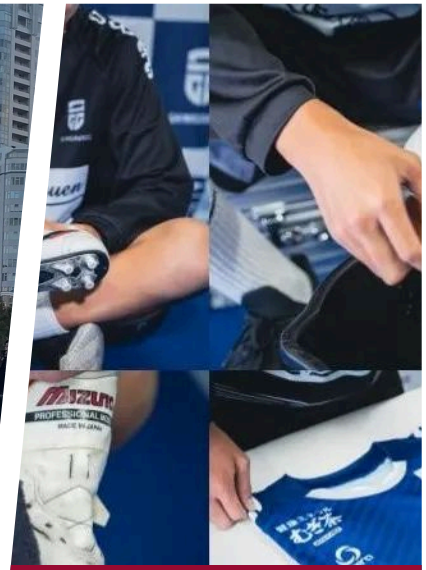




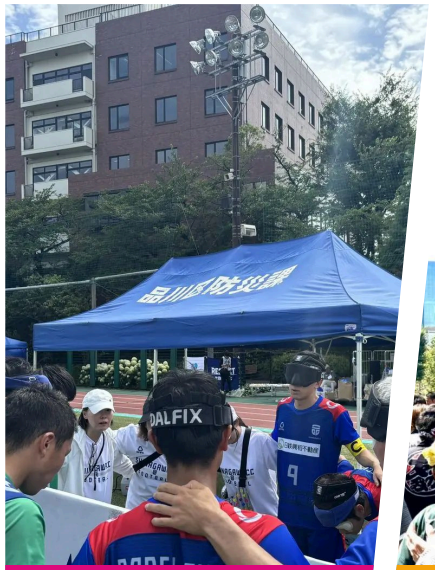
3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



8 働きがいも経済成長も



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう

1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

OUR MISSION

BRIDGES

橋をかけよう

かけた橋を、
だれもが渡れて、
ずっと続く橋に。


FOOTBALL


WILDCATS


Rainbow Venus


PAPELECIAL

対象期間：2025年1月〜2026年10月の活動が中心です。比較や経緯のために、2023・2024年の記録も一部含みます。数字は品川CC公式サイトの活動レポートと、主催団体の発表にもとづきます。

品川CCは、橋の多い街・品川のクラブとして、クラブコンセプトを「BRIDGES 橋をかけよう」と定めています。人と人、人と街、街と企業。スポーツとカルチャーで、そのあいだに橋をかける。

SHINAGAWACC SDGs ACTION は、その橋を**だれもが渡れて、次の世代まで続いていく橋**にするための取り組みです。新しく何かを始めるというより、町会や商店会、企業、行政、競技団体と一緒にすでに続けてきたことを、SDGsのゴールに照らして見直し、記録し、広げていきます。

このレポートは、その最初の記録です。2025年から2026年10月までの活動から、品川CCの公式サイトや記録映像に残っているものをまとめました。

FOOTBALL
サッカー

WILDCATS
3人制バスケットボール

Rainbow Venus
チア

PAPELECIAL
ブラインドサッカー

OUR GOALS



このレポートで紹介した活動が関わるゴールです。SDGsアイコンは、品川CCの活動と各ゴールの関係を示すために掲載しています。国連が品川CCやその活動を支持・承認していることを示すものではありません。



2025–2026、
記録に残る橋。

2026.10.18 東品川海上公園
PLCO 3XS 2026-27 DIVISION 2 ROUND 11 開会式

24件

SDGs ACTION のページで紹介している活動

2025年1月〜2026年10月

857名

ブラインドサッカー LIGA.i 品川節の来場者。同会場で過去最高

2025年／JBFA発表

400名以上

キッズチーム合同クリスマス会の参加者

2025年12月／品川CC

約90人

品川CCが運営した、小学1〜3年生のプレマラソンの参加者

2025年11月／品川CC

70名超

二葉一丁目商店会と開いた「二葉アクティブDay」の参加者

2026年1月／品川CC

INDEX

01 だれもが、同じピッチに。

インクルーシブスポーツチャレンジデー 05

ブラインドサッカーとデフサッカー 06

02 スポーツを、はたらく場に。

就労継続支援B型事業所への業務委託 07

03 こどもたちの未来に、パスをつなぐ。

キッズ3x3エキシビジョンマッチ／運河まつりのバスケ教室 08

小学校の駅伝大会／キッズチーム合同クリスマス会 09

04 まちの文化を、次の世代へ。

二葉アクティブDay／商店街をめぐる活動 10

毎年、同じ祭りに戻ってくる 11

05 いっしょに、橋をかける。

パートナーと、ともに取り組んだ団体 12



01 だれもが、同じピッチに。

インクルーシブスポーツチャレンジデー

見えない、聞こえない、車いすを使う。ちがいがあっても、同じボールを追える場をつくる。





STORY

2025年9月27日、しながわ中央公園で品川区が主催した「インクルーシブスポーツチャレンジデー」で、品川CCはWILDCATSによる3x3ミニバス大会と、パペレシアルによるブラインドサッカー体験を運営しました。

アイマスクをつけてパスを受け、シュートを打つ。小さなこどもから大人までが、選手と同じ体験をしました。WILDCATSの試合のパブリックビューイングや、加藤穂高選手とのシュート対決も行いました。

RECORD

7 試合

3x3ミニバス大会。けがなく全試合を終えました

2 つ

品川CCが運営したプログラム（3x3ミニバス大会・ブラインドサッカー体験）

HOST 品川区

VENUE しながわ中央公園 多目的広場

目を閉じて、ボールの音を追う。

01 だれもが、同じピッチに。

ブラインドサッカーとデフサッカー

見えなくても、聞こえなくても。視覚障がいのある選手がプレーするチームを持ち、聴覚障がいのある選手の日本代表とも試合をしています。

RECORD

857名

LIGA.i 品川節の来場者。同会場で過去最高

2025年／JBFA発表

2回

デフサッカー日本代表とのエキシビションマッチ

2024年10月・2025年10月

BLIND FOOTBALL

ブラインドサッカーチーム「品川CC パペレシアル」は、JBFAが主催し品川区が特別共催する「LIGA.i 品川節」に、ホームチームとして出場しています。2025年の来場者は857名で、同会場で過去最高になりました。

DEAF FOOTBALL

サッカー部門は、聴覚障がいのある選手でつくるデフサッカー日本代表と、2024年と2025年にエキシビションマッチを行いました。2024年は手話実況つきで配信しました。

WITH UNHCR

2025年7月には、国連UNHCR協会と協力し、練習ビブスにロゴを掲出しました。公式戦では、難民支援の広報と寄付のブースを出展しました。

見えなくても、
聞こえなくても、
同じピッチに。





02 スポーツを、はたらく場に。

就労継続支援B型事業所への業務委託

用具の手入れも、グッズの制作も、試合の運営も、クラブにとって欠かせない仕事です。





STORY

2025年12月、品川CCは、株式会社ハシカケが品川区東品川に開設を予定している就労継続支援B型事業所「ワークアリーナ天王洲」に、クラブ運営の仕事を委託すると発表しました。委託するのは、用具の手入れ（ホペイロ）、グッズなどの制作、試合やイベントの運営サポートです。

2026年4月には、ハシカケが品川CCの公式戦会場で説明会を開きました。参加者はスパイク磨きを体験したあと、整備された用具を身につけてプレーする選手たちの試合を観戦しました。

FACTS

PARTNER	株式会社ハシカケ
PLACE	ワークアリーナ天王洲（品川区東品川、開設予定）
WORK	用具の手入れ、グッズ制作、試合・イベントの運営サポート
ROLE	品川CCは業務の委託元

CAREER

品川CCの選手の多くは、日中フルタイムで働きながら競技を続けています。アスリートの就職を支え、就職後も伴走する「1.5キャリア」にも取り組んでいます。

スパイクを磨く仕事が、試合のピッチにつながる。



03 こどもたちの未来に、パスをつなぐ。

キッズ3x3エキシビジョンマッチ

LIVZON | 大成温調株式会社 presents

2026年10月18日、東品川海上公園で行われたWILDCATSのホームゲーム「PLCO 3XS 2026-27 DIVISION 2 ROUND 11」。試合の合間のEVENT TIMEに、子どもたちが3x3の試合をしました。

決まったシュートにも、外れたシュートにも、コートの周りからは声と拍手が送られました。

PARTNER　大成温調株式会社（LIVZON）

HOST　3XS 運営事務局（大会）

決めても、外しても、拍手。



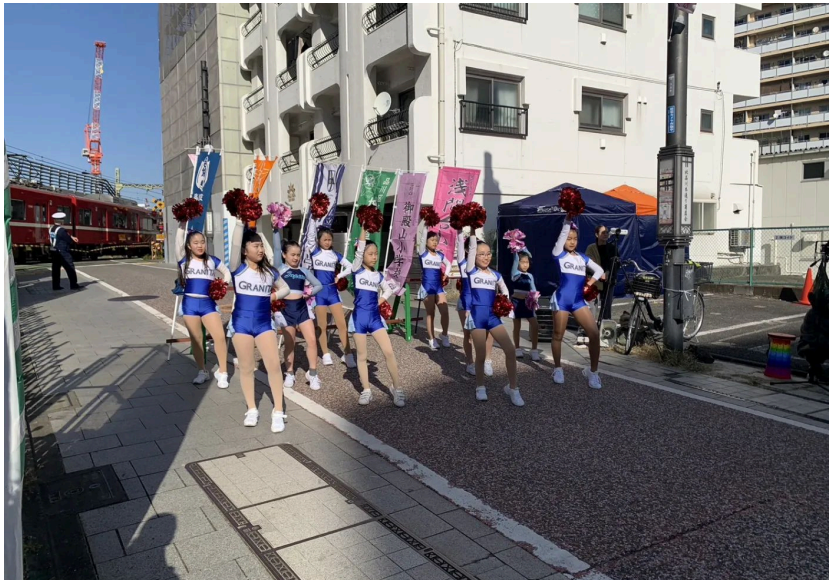
しながわ運河まつり2026 スポーツフェスティバル

WILDCATSの越川和紀選手が講師を務めた、こども向けのバスケ教室

2026年10月11日、しながわ運河まつり2026のスポーツフェスティバルで、こども向けのバスケ教室が開かれ、WILDCATSの越川和紀選手（#24）が講師を務めました。子どもたちはドリブルやシュートに挑戦し、選手と一緒に集合写真も撮りました。

品川CCは2023年から、しながわ運河まつりに関わっています。

COACH　越川和紀（WILDCATS #24）



03 こどもたちの未来に、パスをつなぐ。

第15回 品川宿小学校東海道駅伝マラソン大会

品川CCとして初めて、大会の運営に参加しました。

2025年11月30日、旧東海道と聖蹟公園で開かれた大会（主催：品川宿東海道駅伝・マラソン大会実行委員会）。品川区立小学校PTA連合会品川ブロックの6校が参加しました。品川CCは、15周年の記念に行われた1～3年生のプレマラソンを運営し、4～6年生の駅伝マラソンではタイム記録とコース警備を担当しました。

北側の折り返し地点では、品川CCのキッズチアチーム「GRANITA」「Jupiter」が応援しました。

約90人
プレマラソンの参加者

6校
参加した小学校



キッズチーム合同クリスマス会

品川・港南を拠点に活動するキッズチームと、品川CCの選手が集まる、毎年恒例の会。

2025年12月6日に開いたクリスマス会には、400名以上が参加しました。子どもたちと選手が一緒に遊び、一年を締めくくります。2026年は12月12日に品川インターシティで開催します。

200名超
2023年

500名超
2024年（過去最多）

400名以上
2025年

04 まちの文化を、次の世代へ。

二葉アクティブDay／商店街をめぐる活動

体を動かしながら、商店街を知る。地域のお店と、スポーツをつなぎます。



STORY

2026年1月25日、二葉一丁目商店会の主催、品川CCの共催、品川区の後援で「二葉アクティブDay」をStudio BRIDGESで開きました。キッズチア、K-pop、アスレチック、テーマパークダンス、ストリートダンス、大人のフィットネスのクラスに、70名を超える方が参加しました。

参加者には、商店会のお店を訪ねて撮った写真と引き換えに参加賞を渡し、お店を知るきっかけにしてもらいました。

2025年12月からは、シナネンモビリティPLUSのシェアサイクル「ダイチャリ」で、スタッフが区内の商店街をめぐり、商店街への加入をすすめる活動も始めています。

RECORD

70名超

二葉アクティブDayの参加者

2026年1月

6クラス

開いたダンス・運動のクラス



体を動かしながら、商店街を知る。



04 まちの文化を、次の世代へ。

毎年、同じ祭りに戻ってくる。

町会や商店会に声をかけてもらい、神輿を担ぎ、ブースを出す。それが、街の文化を次の世代へ手渡す、いちばん確かな方法だと考えています。









2025.08.03

御田八幡神社大祭・宮神輿担ぎ

サッカーの選手・スタッフが担ぎ手に。宮神輿が港南を通るのは12年ぶり

2025.09.20–21

二葉一丁目商店会秋祭り

チアのステージとゲームブースを運営し、夜は神輿担ぎに参加

2025.07.05

盆踊〜BONDO〜

大井一丁目権現町会の主催。スポーツ体験と缶バッジ制作のブース

2025.07.26

港南夏まつり

港南四丁目第三アパート自治会の主催。スポーツ体験ブース

2025.06.08

神明スポーツフェスタ

二葉神明町会の主催。体験ブースとチア教室を運営

2025.05.31 / 2026.06.07

みんなの品川スポーツFES

日鉄興和不動産ほかの主催。2026年は3x3の試合とRainbow Venusのパフォーマンス

WITH PARTNERS

いっしょに、橋をかける。

SHINAGAWACC SDGs ACTION は、企業や地域の皆さまと一緒につくる取り組みです。

INCLUSION · COMMUNITY

シナネンホールディングス／シナネンモビリティPLUS

創業の地・品川で、品川CCが主催する少年フットサル大会「シナネンカップ」と、ブラインドサッカーの大会に協賛。シェアサイクル「ダイチャリ」は、商店街をめぐる活動の足にもなっています。

GOAL 10　GOAL 11　GOAL 17

COMMUNITY · HEALTH

日鉄興和不動産

2019年からのパートナー。同社が主催する「みんなの品川スポーツFES」や「SHINAGAWA KARADA Re-BOOT Week」で、品川CCは3x3のホームゲームや健康づくりの企画運営を担っています。

GOAL 3　GOAL 11　GOAL 17

KIDS

大成温調株式会社（LIVZON）

「LIVZON｜大成温調株式会社 presents キッズ3x3エキシビジョンマッチ」として、WILDCATSのホームゲームの合間に、子どもたちが3x3の試合をする時間を一緒につくりました。

GOAL 3　GOAL 4　GOAL 17

WORK · INCLUSION

株式会社ハシカケ

「スポーツ×障がい福祉」をテーマに開設を予定している就労継続支援B型事業所「ワークアリーナ天王洲」に、品川CCはクラブ運営の仕事を委託すると発表しました。

GOAL 8　GOAL 10

EDUCATION

戸板女子短期大学

品川CCの2026年度新体制発表会を、学生と共同で運営。服飾を学ぶ学生が品川CCのオフィシャルグッズを制作し、実際に販売しました。

GOAL 4　GOAL 17

ORGANIZERS

主催者・連携先

品川区／日本ブラインドサッカー協会（JBFA）／国連UNHCR協会／二葉一丁目商店会・二葉一丁目町会／大井一丁目権現町会／二葉神明町会／港南四丁目第三アパート自治会／品川宿東海道駅伝・マラソン大会実行委員会 ほか

JOIN THE ACTION

次の橋を、
いっしょにかけませんか。



SDGsの取り組みを一緒に進めるパートナー企業を募集しています。地域イベントの共催、こどもたちのスポーツ体験、障がいのある方の仕事づくりなど、貴社の目的に合わせてご提案します。

お問い合わせ　sales@shinagawa.cc

scc-sdgs-action.pages.dev



PUBLISHER

株式会社品川カルチャークラブ（品川区東品川）
2026年11月発行

PERIOD

2025年1月〜2026年10月の活動が中心
（比較や経緯のため2023・2024年の記録を一部含む）

SOURCE

品川CC公式サイトの活動レポート・お知らせ、主催団体の発表（857名はJBFA発表）、品川CCの動画記録

SHINAGAWACC

scc-sdgs-action.pages.dev
sales@shinagawa.cc